



地域支援部だより

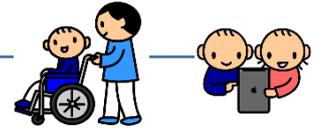


〒781-0010 高知県四万十市古津賀 3091
高知県立中村特別支援学校 地域支援部
Tel0880-34-1511 Fax0880-34-1625



R4. 第2号

新年度がスタートして早くも1か月が経ちました。子どもたちも新しい環境に慣れてきたところで、暖かい日差しの中、外遊びを楽しんでいるのではないのでしょうか。地域支援部は、今月から本格的に相談業務がスタートしますので、よろしくお願いします。



障害者差別解消法の改正

昨年の5月、障害者への合理的配慮の提供を民間の事業者にも義務付ける、障害者差別解消法の改正法が成立しました。（※正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」です。）今回成立した改正法のポイントは、これまで民間の事業者の「努力義務」とされていた合理的配慮の提供が、**国や地方公共団体などと同様に「義務」（法的義務）とされた点**です。

ここでの障害者とは「心身に障害がある人=障害者」ではなく「**社会的に存在する障害に直面している人=障害者**」という「**社会モデル**」と言われる発想に立って考えられています。例えば、「建物に階段しかなければ、車いすの人は2階に上がれない、でもエレベーターやスロープがあれば上がることができる」だから、エレベーターがないという環境が障害であり、車いすであるということが障害ではないという考え方です。 **×**



合理的配慮の具体例がホームページ上に公表されていますのでご紹介します。

- ・合理的配慮サーチ（内閣府） <https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/jirei/>
- ・インクルDB（国立特別支援教育総合研究所） <http://inclusive.nise.go.jp>

また、「社会モデル」という発想では、身体等に障害がなくても、「身長より高い壁などに囲まれた場所から外に出ることは難しい、でもはしががあれば、その壁を乗り越えることができる」というように、障害のある方もない方も同じ前提と考えることができ、ユニバーサルデザインとつながりますね。



吉田松陰は合理的配慮の提供者！！

幕末の偉人、吉田松陰の弟（杉敏三郎）は先天的な聴覚障害者であったということをご存じですか。松陰はこの弟のことを何かと心配しており、旅先や獄中から弟を案じる手紙が幾通も遺っているそうです。九州遊学に行った際には、難病の治癒に特効があるという虎退治で有名な加藤清正を祀る本妙寺にある浄池廟を詣でて、熱心に祈ったそうです。そんな松陰は弟に読ませたいと江戸で絵本を購入し実家に送っています。聴覚障害があるために、**文字だけを読んでも意味が分かりにくく、絵と文字の両方を読むと理解しやすいという点を考えてのことだ**と思います。また、松陰は語りかける際には、**座ってゆっくりと語りかけるスタイル**であったそうです。

